

中央中の「清掃」について

中央中清掃の大原則：無言清掃を徹底させる！

・清掃時間中に一切話さない。

※自分たちの清掃が終わっても、清掃時間内は無言で！

・清掃のみに神経を集中させ、スムーズに清掃を行う。

※6（5）校時の授業の終了から私語をしないで、素早く清掃にとりかかる。

・感謝の気持ちを持って、日頃から学校を隅々まできれいにする。

※日頃から、きれいな学校環境を目指す。「汚さない」「汚れたらきれいにする」

1：清掃の意義 『自ら考えて無言で清掃しよう！』

- ①清掃は、生徒全員が必ず行う。清掃場所、手順、時間内で無言で行うことを大切にする。
- ②分担内容を、仲間と協力して、手順よくすすめ、作業能率を向上して短い時間でたくさんの汚れをとる。
- ③自分たちが清掃し、きれいな学習・生活環境で、気持ちよく学校生活を送れるようにする。
- ④自分の分担を一年間継続してやり抜く力・態度を養う。

2 清掃の流れについて

- ①授業が終わったら、無言で素早く清掃場所へ移動すること。清掃班長はカードを持っていく。
※無駄話はダメ！ 無言に行うことで、集中して清掃をすることができます。
- ②場所に移動したら、自分たちの役割分担を行う。
- ③自分の分担が終わったら、他の班員を手伝ったり、自分から仕事を探したりする。
※自分の分担が終わったら終わりではない。みんなで協力して、時間内は無言で行うことが大切です。
- ④全員の仕事分担が終わったら、清掃班長は全員を集め、担当の先生と一緒に反省会を行う。
※担当の先生は何か所も分担を持っているので、その場にいらない時は担当の先生を待っているか、近くなら全員で担当の先生の所に行って反省会を行う。
- ⑤以上のことを、時間内に終わらせ、教室に素早く無言で帰り、帰りの会の準備をすること。

3 清掃の仕方（例）

（1）教室清掃【ほうき・雑巾・机運び（8～12人）黒板・ロッカー（1～2人）、角などの隅担当（1人）など。】

- ①清掃の前の授業が終わったら、すぐにイスを机の上に逆さにのせる習慣をつけましょう。
※その前が移動教室の時は、移動する前に机を前に出すこと。
- ②ほうきは、ロッカー側（教室後）から前にはく。
※ゴミは、集めて取ってもいいし、最後に机を運んで黒板の下で最終的に集めてとって構わない。担任の先生と確認すること。
- ③ロッカー側から、そうきん担当の場所を決め、両膝を床に着き、雑巾を持った手を左右に動かす方法で行います。（そうきんかけは「固く絞った濡れ拭き」です。）
※バケツに水をくみ、流して雑巾を洗わずに行う。
※片道でなく、1往復～2往復するとさらに教室がきれいになります。
※雑巾は二つ（四つ）折りにして、一つの面が汚れたら他の面を使って汚れを拭くなどの工夫をする。
※後方をふいたからといって、すぐにバケツに洗いにいかないこと。後方・前方を拭き、机を運び終わってから洗いにいくこと。いちいち洗いにいくだけで、掃除の時間が無駄にかかってしまいます。
- ④ふき終わったら、教室の机の移動です。机を持ち上げて、後ろ側に運びます。机の中の文具等を床に落とさないように、机の前側から持ち上げて運びましょう。雑巾かけの分担場所の机の列を、運ぶ分担と同じにするとスムーズに行きます。
- ⑤ほうきは、机を運んでいる時に、床のゴミをそのまま運んでしまいますので、机を運んでいる最中に、真中から前にかけて、しっかりはくことが特に「重要」になります。
- ⑥机が運び終わると、ほうきがはいている途中です。雑巾かけを後方と同じように、真中から黒板（教室前方）に向かって丁寧に行ってください。壁際の床は汚れやすいのできちんと拭くことが大切です。
※給食の汚れなどがこびりついたり、黒ずんだりする前に、日常の場面で汚れが減るように雑巾でしっかりぬぐいましょう。
- ⑦ほうきは、ゴミ箱の下や、教室の壁側もしっかりはくことが大切です。
- ⑧ふき終わったら、机を持って運びます。きれいに並べましょう。
- ⑨机を前に出し、椅子を下ろします。ほうき担当も椅子を下ろすのを手伝う事。
- ⑩以上の事が、終了したら清掃班長は反省を班員全員で行って下さい。

(2) 黒板 (前・後)

- ①黒板消しを、上から下に何度も丁寧に扱う。
- ②チョークを置くサンの所を水ふきする。
- ③チョークの粉が落ちたら、床をふく。チョークの整理整頓など細かな所に気を配る。

(3) 廊下清掃 役割【ほうき (1~2人)、雑巾 (2人)】

- ①ほうき担当が丁寧に掃く。
- ②雑巾担当が雑巾掛け。方法は教室の雑巾掛けと同様。1~2往復。
- ③ほうきは、はき終わったら、教室のドアレールの部分を小さいほうきで掃き掃除。
- ④上履きの後などは、スポンジなどで落とす。

(4) 階段 役割【ほうき (2人)、雑巾 (3~4人)】

- ①ほうき担当が階段上から、ほうきでていねいにはく。
- ②雑巾担当が雑巾掛け。方法は教室の雑巾掛けと同様。1~2往復。
- ③ほうきは、はき終わったら、てすり・壁側・角の隅っこなどの拭き掃除を手伝う。

(5) 流し

- ①タワシ・スポンジで隅々まで磨く。排水溝も磨く。
- ②雑巾担当は、流しの周りの床・流しの手すりなどを何度も拭く。
- ③流しのゴミもしっかり取る。

(6) トイレ (3~4人)

- ①便器用スポンジで磨く。(洗剤がなくなったら、空になった容器をもって職員室に取りに行く。)
- ②床をはき、雑巾で拭く。
- ③鏡を拭く。→流しをスポンジで磨く。→雑巾でふく。
- ④トイレットペーパーの補充は、芯を持って職員室に取りに行く。

『大事な当番活動の一つとして、清掃活動で、しっかりと責任を果たせる人になりましょう。』